\$13.

3 (4) くマクローリンの空里と

関数分の: 0を含むお3 開区間 1=(0.6) でで数関数

このとき、アメモ(は、も) に対して

=0 = (01) 2x for - for x+ for x+ for (0)x+ + for (0)x + for (0x) x+1

(人)マクローリンの定理より

このとは、X=3とすると

e3=1+3+ 1 32+ .. + 1 3"+ e30 3m1

220

183- 91+3+32+ ... + 3n 1 = | 80 3m1 | < e3. 3m1 < 100

ではることがち 100 そんなるれる壁かば、さのなら対して

103- {1+3+31+ + + 37 } < 2

が成立なことが判ります